

令和6年8月30日

荒川区長

西川 太一郎 様

自由民主党荒川区議会議員団

若林 由季 西川 浩平 夏目 亜季 鎌田 理光
町田 高 菅谷 元昭 明戸真弓美 茂木 弘
並木 一元 斎藤 泰紀 北城 貞治

新型コロナワクチン・インフルエンザワクチンの接種費用の軽減を求める緊急要望

新型コロナウイルス感染症は、5類に移行した後も感染拡大を繰り返しており、特に高齢者においては重症化しやすく、また、入院期間が長引く傾向があることから医療機関のひっ迫を招く恐れが続いています。そのため、高齢者の重症化を予防するためには、引き続きインフルエンザワクチンも含めた高齢者のワクチン接種の継続実施が極めて重要になると考えております。

予防接種法に基づく定期接種は、そもそも疾病の発生及びまん延を予防し、国民の健康の保持に寄与するためのものであり、国の責任において実施すべきものです。

しかし、新型コロナワクチン及びインフルエンザワクチンの接種費用の助成額については、区市町村によって様々です。その助成額によって、接種対象者であっても接種を躊躇する方も生じることが懸念されます。

今年度、新型コロナワクチンについては一部国費の補助がありますが、高齢者の誰もが接種をしやすい環境を整えるには、国や東京都による継続した接種費用の軽減が必要であるとと考えております。

そこで、自由民主党荒川区議会議員団は、荒川区に対し、接種対象の方々への接種を促進するために、下記の項目について、強く求めます。

記

- 1 予防接種については、国の法律で規定していることから、接種希望者の自己負担や区の財政負担が過大とならないよう国や東京都による財政支援を強く要望すること。
- 2 新型コロナワクチン・インフルエンザワクチンの接種費用の無料化について、財源が確保できた際は、積極的に検討を行うこと。